

## 神戸生まれの老舗ベーカリー「ドンク」

# 2019年3月より順次、ドンクグループの全ブランドで FSC®認証包装品とバイオマスプラスチック包装品を導入

1905年創業、職人が粉から生地を仕込み、焼き上げるスクラッチ製法に一貫してこだわった神戸生まれの老舗ベーカリー、株式会社ドンク（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長執行役員：中土忠）は、2019年3月より順次、ドンクグループの全ブランドでFSC®認証包装品とバイオマスプラスチック包装品を導入することを決定いたしました。

ドンクでは、森林が急速に破壊されている状況やプラスチックごみの不適切な廃棄が深刻な環境問題となる中で、全ブランドのショッピング紙袋を「FSC®認証包装品」、ポリ包装品を「バイオマスプラスチック包装品」に2019年3月より順次切り替えていきます。

「FSC®認証包装品」は、木材を生産する世界の森林とその森林から切り出された木材の流通や、加工のプロセスを認証する国際機関の「FSC®（Forest Stewardship Council®、森林管理協議会）」に承認された包装品です。消費者はこのFSCのマークが入った製品を選択することで、世界の森林保全を間接的に応援できる仕組みとなっています。

「バイオマスプラスチック包装品」は、サトウキビ由来の植物プラスチックを使用した包装品で、従来の化石資源から作る場合と異なり、二酸化炭素排出を軽減できるため地球温暖化防止に役立ちます。また再生可能な有機資源から持続的に作り得るプラスチック素材を使用することで、化石資源の節約にもなるという点で注目されています。

今後は、2019年度中に紙包装品の年間使用量、約363トン（2017年度実績）の内、約103トン（28.4%）をFSC®認証包装品に、ポリ包装品の年間使用量、約598トン（2017年度実績）の内、約365トン（61.1%）をバイオマス認証包装品に切り替えていく予定です。ドンクグループは、2020年度までに全包装品の使用量の約50%をエコ対応にしていきます。

ドンクではこれからも日本のパンの歴史とともに歩み続ける老舗ベーカリーとして、品質の良い商品をお客様にお届けしていくとともに、安全・安心な商品の提供を心掛け、地球環境保全にも積極的に取り組んでまいります。

### ■中土忠（代表取締役社長執行役員）のコメント

パンづくりは自然の恵みをいただいでできるものです。弊社においても地球環境や社会に配慮したエシカルな商品の導入や自然環境に負荷をかけない取り組みを今後も少しずつ行ってまいります。



責任ある森林管理  
のマーク

FSC®認証マーク



バイオマス  
マーク